

《研究課題名》

炎症性腸疾患における腸内古細菌の検討

《研究対象者》

滋賀医科大学消化器内科において「炎症性腸疾患における腸内バクテリオファージの検討」の研究にご協力いただいた方。

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の過去に提出していただいた糞便検体を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。試料・情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

本研究に関するご質問は下記（４）の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

《研究課題名》

炎症性腸疾患における腸内古細菌の検討

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2027年9月30日

《研究責任者》 滋賀医科大学 消化器内科 西田淳史

（２）研究の意義、目的について

《意義》

炎症性腸疾患は消化管の慢性炎症の疾患であり、腸内細菌叢の構成の異常が病態に関係すると考えられています。古細菌とは細菌やウイルスとはまた異なる分類の微生物であり、細菌やウイルスのようにヒトの腸内にも存在しています。腸内古細菌は、細菌が産生するH₂や短鎖脂肪酸を使用してメタン産生を行うことなどから腸内細菌にも影響を与えられていると考えられていますので、腸内古細菌も炎症性腸疾患の病態に関係する可能性があります。

《目的》

この研究の目的は、炎症性腸疾患患者さんの腸内古細菌の構成の解析と、腸内細菌に与える影響について検討することです。

（３）研究の方法について

《研究の内容》

本研究は滋賀医科大学を中心に、摂南大学と協力して行う多機関共同研究です。

既に「炎症性腸疾患における腸内バクテリオファージの検討」の研究に提供していただいた糞便検体から抽出した古細菌・細菌の遺伝子を、摂南大学農学部応用生物科学科 動物機能科学研究室まで郵送して次世代シーケンサー（腸内古細菌・細菌の遺伝子を培養することなく増幅させて、その構成を調べる装置）で、腸内古細菌・細菌を解析します。

《利用し、又は提供する試料・情報の項目》

糞便検体(糞便中の細菌・古細菌の構成の解析)

カルテから収集する情報

(年齢、性別、治療歴、内服歴、内視鏡所見、血液検査所見、内視鏡検査所見)

《試料・情報の提供先》

学校法人常翔学園 摂南大学

《試料・情報の提供方法》

郵送により摂南大学へ上記の試料を提供します。

《試料・情報を利用する者の範囲》

・滋賀医科大学消化器内科

研究責任者 西田淳史

・摂南大学農学部応用生物化学科 動物機能科学研究室

研究責任者 井上亮

《試料・情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 上本 伸二

(4) 本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学消化器内科 西田淳史

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2217

FAX：077-548-2219

メールアドレス：hqmed2@bell.e.shiga-med.ac.jp